

**よりすばらしい、自分・味野中学校になるために
よりよい味野中学校にするために**

(アンケート結果と考察)

お忙しい中、アンケートにご協力くださりありがとうございました。アンケート結果は、今年度の振り返りと来年度の計画作成の際の資料とさせていただきます。私たちは、この結果を反省にまた自信にもして、今後も生徒・保護者の方の意見や気持ちを大切に、さらなる改善に取り組んでいきたいと思ひます。

以下にアンケート結果およびその考察を掲載しています。ご意見やご質問等がありましたらお知らせください。なお、学年ごとのアンケート結果等は、味野中学校ホームページでご覧いただければと思ひます。

令和2年1月31日 校長 三宅 秀明

成果と課題

(1) 学習について

- (生徒) 「将来の夢や希望があり、実現できるように努力したい」について、全体で25%の生徒が「やや不十分」「できていない」と回答しています。
- (生徒) 「自分は、授業に真剣に取り組むように心がけている」について、全体で90%の生徒が「十分できている」「おおむねできている」と回答しています。
- (生徒) 「平日の家庭での平均の学習時間(塾を含む)」について、全体で13%(昨年度は20%)の生徒が「30分以下」と回答し、全体で36%(昨年度は30%)の生徒が「1時間30分から2時間」と回答しています。
- (保護者) 「学校でもう少し指導してほしいこと」でもっとも多いのは、「学習習慣の定着」でした。(47.1%)

※ 総合的な学習の時間「味彩」における取り組みを中心に、自分の将来に目を向けて目的をもって生活し、学習意欲につながるよう、より充実した取り組みを実践していきたいと思ひます。

※ 授業では、生徒の「わかった」「できた」を大切にして、全教員で「岡山型学習指導のスタンダード」を基本に、基礎基本の徹底と話し合い活動など生徒が活動する場面を授業の中に取り入れて、1時間の授業の流れを大切にしたいと思ひます。

※ 多くの生徒が授業に真剣に取り組むように心がけています。教員の指導だけでなく、学級委員会や生活委員会などの取り組みとしても授業規律に力を入れています。

※ 家庭学習の習慣については、学習時間から見ると改善の兆しが見られます。今後も「宿題一覧ボード」や「自主学習欄を設けた生活ノート」を引き続き活用して、習慣的に学習が行える環境を調べていきたいと思ひます。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

(2) 生活について

- (生徒) 「あいさつ」は92%、「時間を守る」は91%の生徒が、「十分できている」「おおむねできている」と肯定的な回答をしています。
- (保護者) 「家庭で特に力を入れて指導していること」では、多い順に「あいさつ」(66.5%)、「約束を守る」(64.0%)、「時間を守る」(63.2%)、となっています。
- (生徒) 「学校へ来るのが楽しみである」について、全体で23%の生徒が「やや不十分」「できていない」と回答しています。
- (保護者) 「学校でもう少し指導してほしいこと」では、24.3%の保護者から「人間関係づくり」、20.7%の保護者から「ことばづかい」があがり、「学習の習慣」に次いでいます。
- (教職員) 多くの教職員が「家庭学習の習慣」「交通マナー」「清掃活動」などに、もっと力を入れて指導する必要があると回答しています。

- ※ 「あいさつ」「時間を守る」「ことばづかい」などの基本的な生活習慣については、学校生活全体を通じて引き続き指導していきます。
- ※ すべての生徒が不安なく笑顔で登校できるよう、一人一人の生徒に目を配り、日々の声かけや教育相談の機会を大切にして、不安や悩みの解消に努めていきたいと思ひます。
- ※ 今年度はメディアとの付き合い方を考える機会として「メディアコントロールチャレンジ」を行い、味野中学校区の小学校と連携し、保護者の皆様にもご協力をいただきました。各ご家庭におかれましても、メディア使用についてはルールを作り、約束を守るよう話し合いの場をもつていただければと思ひます。
- ※ 今年度は、これまで以上に道徳の授業の充実を図ってきました。その中で、「自主・自律」「思いやり」「相互理解」などのことについて、自分のこととして考え、話し合い、多面的・多角的にとらえてきました。そして、学級活動や学校行事そして部活動などを通して協力して活動していく場面をたくさん設定して、よりよい人間関係づくりができるようにしていきたいと思ひます。

(3) 大人としての態度

- きちんと叱る 生徒は93%、保護者は85%の方が「先生はきちんと叱ってくれる」と回答しています。
- 素直に謝る 生徒との信頼関係を築くためにも必要なことだと思ひます。12%の生徒が教師に対してそう感じていないという結果については、真摯に受け留めたいと思ひます。

- ※ 生徒の善悪の判断や規範意識を身につけさせるには、きちんと叱ることもとても重要です。生徒の間違った行為等に対して、教師が「きちんと叱っている」という印象を生徒はもつています。これからも「ダメなことはダメ」ときちんと指導していきたいと思ひます。
- ※ 生徒は成長過程で、「言われないと気づかない」「言われている意味がわからない」ということがあります。生徒の将来のことを考えきちんと叱りますが、なぜ叱られるのかを分かりやすいことばで伝え、納得させることも大切であると感じています。

(4) 教師との関係

- (生徒) 「自分の気持ちを分かってくれ、相談できる先生がいる」では、全体で80%の生徒が肯定的な回答をしています。
- (生徒) 「先生にほめられてうれしかったことがある」では、全体で80%の生徒がそう感じています。
- (保護者) 「保護者の気持ちを理解してくれる先生がいる」では、全体で77%の方がそう感じておられます。
- (保護者) 「担任や部の顧問と話す機会がある」では、53%の保護者が不十分だと感じておられます。
- (保護者) 「学校の行事や活動に参加することが楽しみである。」では、全体で81%の保護者がそう思われています。

- ※ 今後も、授業や休み時間、生活ノートなどを通して生徒との信頼関係を作り、生徒が活躍できる場面をたくさん設定して生徒が成長した点やがんばっている姿などをしっかり認め、ほめていきたいと思ひます。
- ※ 家庭訪問や懇談の時だけでなく、参観日や学校行事・部活動の試合や発表会などの日も有効に使えたらと思ひます。教師からも積極的に話しかけていきたいと思ひますが、保護者の方からも話しかけていただければ大変ありがたいです。
- ※ お忙しいとは思ひますが、学校行事にお越しいただき子どもたちのがんばっている姿を見て、家庭での話題にいただければありがたいです。
- ※ 学校と保護者との信頼関係は生徒の育成にとっても大切です。生徒と教師、保護者と教師の関係をさらに良好なものにして、生徒の成長につなげていきたいと思ひています。